

ヘリコバクター・ピロリ感染症

胃の中に存在するらせん状の細菌です。胃液により強い酸性環境にあるため、胃内には細菌は生息できないと長く考えられてきました。しかし1983年、オーストラリアのロビン・ウォレンとバリー・マーシャルが胃からこの菌を培養することに成功しました。1982年の復活祭のとき、マーシャルの実験助手が休暇をとったため、通常は2、3日で終わらせる培養を、5日間続けることにし、これが菌の発見につながったと言われています。2005年、彼らはこの功績によりノーベル生理学・医学賞を受賞しました。

ヘリコバクター・ピロリに感染している人は多いのでしょうか？

若い人では少ないのですが、中高年では約7割程度の方がこの菌に感染しています。日本人全体では、およそ2人に1人が感染していると考えられています。

ヘリコバクター・ピロリに感染している人は治療をした方がいいのでしょうか？

感染者がすべて症状を起こすわけではもちろんありませんが、萎縮性胃炎、胃潰瘍、十二指腸潰瘍、胃癌等の発症に関与していると考えられています。現在は胃潰瘍、十二指腸潰瘍の患者さんにおいてのみ保険診療で治療することができます。

どのようにして治療するのですか？

プロトンポンプ阻害薬という胃の薬と2種類の抗生物質を1週間服用します。この胃薬は抗生物質の効果を強くするために服用するものです。この治療の成功率は約7～8割程度です。もし治療に成功しなかった時は、抗生物質の種類を変えて再度治療することもできます。

文責 芳川一郎